



## 第36回桃太郎杯全国高等学校空手道錬成大会

- ◆大会長／二木 信輔(岡山県高等学校体育連盟空手道専門部 部長)
- ◆会期／2023年1月4日(水)・5日(木)
- ◆会場／ジップアリーナ岡山

令和2・3年と新型コロナウイルス感染症の関係でやむを得ず中止となりましたが、今年度は少し規模を縮小して第36回桃太郎杯全国高等学校空手道錬成大会を開催致します。この大会はおかやま山陽高等学校空手道部が、正月明けに全国の強豪校を集めて合宿を行っていたのが始まりで、年々参加校が増え、大会として開催するようになった。

この桃太郎杯は高校空手界の三大タイトルの一つとして定着しており、インターハイ・全国選抜大会に次ぐ大会で色々な意味で夢を与える大会である。毎年、全国各地より約120校の学校が参加している。(令和元年度113校) 今年度は2日間開催(例年は3日間開催)ではあるが、高校拳士の熱い戦いを期待している。

- ◆お問い合わせ先  
〒719-0252  
岡山県浅口市鴨方町六条院中2069  
おかやま山陽高等学校 赤澤浩司・茅原史穂・元嶋ひかり  
TEL:0865-44-3100



## 第46回日本脳神経外傷学会

- ◆大会長／宇野 昌明(川崎医科大学脳神経外科 教授)
- ◆会期／2023年2月24日(金)・25日(土)
- ◆会場／岡山コンベンションセンター

学会のテーマは「経験とエビデンスを生かした脳神経外傷治療」とさせていただきました。本邦の人口の高齢化に伴い、頭部神経外傷の原因として交通外傷が減少し、高齢者の転倒転落によるものが増加しましたが、その治療予後は決して良くなかったとは言えません。さらに外傷後の転院先や介護についても課題が山積しています。頭部神経外傷は受傷時の重症度により予後が決まってしまうと考えがちですが、治療やリハビリにより著しい回復を示す症例も多いのも事実です。この学会では日々大変な努力を払って診療にあたっておられる方々が自分たちの経験を発表し、そこから日本及び世界に発信できるエビデンスを導くことができればと思っています。多数の皆様のご参加を心よりお待ちしています。



川崎医科大学脳神経外科 教授  
宇野 昌明

- ◆お問い合わせ先  
第46回日本脳神経外傷学会 運営事務局  
株式会社メッド  
TEL:086-463-5344 FAX:086-463-5345  
E-mail:jsnt2023@med-gakkai.org  
<https://med-gakkai.jp/jsnt2023/>

## 第33回日本心血管画像動態学会

- ◆大会長／上村 史朗(川崎医科大学 循環器内科学 教授)
- ◆会期／2023年1月13日(金)・14日(土)
- ◆会場／岡山コンベンションセンター

第33回日本心血管画像動態学会学術集会を令和5年1月13日・14日の両日に開催させていただきます。本学会は心血管系疾患に対する精度の高い診断方法を研究開発して、予防と治療に反映させることを目的としています。特に最近ではコンピュータ技術、特に人工知能AIの進歩が目覚ましく、循環器領域における画像動態診断の重要性がさらに高まっています。今回のテーマはこのような情勢のもとに「挑む循環器画像動態診断～AI技術の深化と臨床展開～」とさせていただきました。

日本の人口の高齢化に伴って心血管病の患者さんが増加し、さらに病状・病態も複雑になってきています。多職種、多領域の医療関係者に集っていただき、実りある議論が行えますことを心待ちしております。



川崎医科大学  
循環器内科学 教授  
上村 史朗

- ◆お問い合わせ先  
第33回日本心血管画像動態学会 運営事務局  
株式会社 コンベンション リンケージ内  
TEL:06-6772-6389 FAX:06-6772-7600  
E-mail:[jsovid33@c-linkage.co.jp](mailto:jsovid33@c-linkage.co.jp)  
<https://www.c-linkage.co.jp/jsovid33/>

## 1st Advanced Electro-Measurement Technology for a better human society and the 11th East Asia Symposium on Superconductor Electronics (AEMT 2023 and EASSE 2023)

- ◆大会長／大島 重利(山形大学名誉教授)、紀和 利彦(岡山大学教授)
- ◆会期／2023年3月27日(月)～29日(水)
- ◆会場／岡山コンベンションセンター

EASSE 2023は、東アジアをはじめ、欧米、国内から超伝導エレクトロニクス研究者が最新の研究成果について議論を行う国際会議です。超伝導エレクトロニクス技術の発展により、超高速通信素子や量子コンピュータ素子などの従来にない革新的な先端デバイスの実現が期待されます。今回は岡山を中心とした国際ネットワークを形成し、先端計測のアプローチで安心安全・健康な社会を目指すシンポジウムAEMT 2023(主催:岡山大学先端医用電子工学研究室)と共に開催します。先端計測分野でも、超伝導デバイスは、革新的な計測の実現に不可欠な科学技術の一つです。2つのシンポジウムが融合することで、新しい科学技術を創造し、より良い社会の形成に貢献することが期待されます。



副委員長(岡山大学准教授)  
堺 健司

- ◆お問い合わせ先  
岡山市北区津島中3丁目1-1  
岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域  
TEL:086-251-8114  
E-mail:[jointevent@ec.okayama-u.ac.jp](mailto:jointevent@ec.okayama-u.ac.jp)  
[https://www.okayama-u.ac.jp/user/eng\\_aemt/EASSE2023/index.html](https://www.okayama-u.ac.jp/user/eng_aemt/EASSE2023/index.html)



## 令和4年度 岡山市MICE研修会を開催いたしました

9月28日(水)に岡山市・(公社)おかやま観光コンベンション協会・(株)岡山コンベンションセンターが主催となり、「令和4年度岡山市MICE研修会」を開催いたしました。

今回の研修会には約140名様にご参加いただきました。講演では(公財)大阪観光局MICE政策統括官 田中 嘉一様より、観光PR動画は常に最新のものにしておくことや、MICE会場で提供する食を充実させ、まずは1つの会議を県内事業者が一体となって運営してみることなど岡山のMICE戦略についてのご提案をいただきました。また、県内関連事業者様19団体の物産販売・体験・展示等の出展ブースを設け、岡山独自の強みや魅力をご出展様同士でもご体感いただける有意義な研修会となりました。

今後も関連事業者の皆様と情報交換・連携を取りながらMICE誘致活動を行ってまいります。



▲ コンベンション関連事業者・演者 集合写真



## 令和4年度中国・四国地区コンベンション誘致懇談会へ出展!

12月1日(木)に品川プリンスホテルメインタワーにて開催された令和4年度中国・四国地区コンベンション誘致懇談会へ出展いたしました。この誘致懇談会では、中国・四国地区でのコンベンション開催を積極的に推進するため、中国・四国地区のコンベンション推進団体がコンベンション開催の決定権を有する方々を招待し、各地区的最新コンベンション情報を紹介するとともに、岡山市への開催誘致を目的としています。当日は17団体・23名様と商談・懇談を行いました。



▲ 岡山ブース

学会誘致促進に向け  
岡山理科大学と連携協定を締結

この度、学校法人加計学園岡山理科大学と、コンベンションの誘致・開催における連携協力に関する協定を締結いたしました。本協定の締結は、岡山理科大学と当協会が官学の連携を通じて相互の発展に寄与するとともに、教育・研究・国際交流及びまちづくりの各分野で協力し、岡山市でのコンベンション誘致・開催による地域の発展と人材の育成に寄与すること目的とするものです。10月11日(火)に実施された調印式では、岡山理科大学 平野 博之学長と、(公社)おかやま観光コンベンション協会 石井 清裕会長が協定書に調印を行いました。今後この連携協定を通して、協会の開催支援制度を学会主催者に広く周知し活用していただくなど、さらなる岡山市内でのコンベンション開催件数拡大に向け学会誘致促進活動に取り組んでまいります。



▲ 調印式の様子

能楽堂ホールtenjin9にて  
MICEコンテンツ見本市を開催いたしました

11月19日(土)・20日(日)に岡山市・(公社)おかやま観光コンベンション協会・(株)岡山コンベンションセンターが主催となり、「令和4年度MICEコンテンツ見本市」を能楽堂ホールtenjin9にて開催いたしました。会議主催者運営関係者の方々を中心に約40名様にご参加いただきました。会議やセッション開催時に、特別感や地域の特性をより演出できるユニークな会場としての施設の使用説明や、日本らしいアトラクションの紹介を行いました。参加者の皆様からは、今後のMICE開催の参考になったというお声を多数いただきました。



▲ アトラクション紹介の様子



## 「長期滞在型岡山観光モデル」創出に向け、倉敷市との連携強化!

岡山市は、MICE開催件数の拡大と経済活性化への貢献のため、MICEをきっかけとした「長期滞在型岡山観光モデル」創出を掲げ、他都市とのエリア連携に取り組んでまいります。第一フェーズとして倉敷市との連携強化を実施いたします。MICE実績の高い岡山市と、観光コンテンツが豊富な倉敷市の強みを合体させ、一日でも多く岡山へ滞在していただけるような連携パッケージを創出し魅力強化を図ります。パッケージ化したものを活用し、ワンチームとなってMICE誘致活動を行ってまいります。



▲ 大原美術館